



第7回 東京湾カップ

「三崎・横濱ヨットレース」

NOTICE OF RACE

【レース公示】

主 催	(公財)日本セーリング連盟加盟団体 外洋東京湾
後 援	横浜ベイサイドマリーナ株式会社
協 力	J S A F加盟団体外洋三崎、J S A F加盟団体三浦外洋S C、 J S A F加盟団体外洋湘南、一般社団法人 横浜ヨット協会、 横浜市民ヨットハーバー、横浜ベイサイドマリーナボートクラブ、 横浜ベイサイドヨットクラブ、横浜港ボート天国推進連絡協議会 日清紡ホールディングス株式会社
レース運営	第7回東京湾カップ三崎・横濱ヨットレース実行委員会

この公示の規則での【DP】表記は、その規則の違反に対するペナルティを、プロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することが出来ることを意味する。
【NP】は、ボートによる抗議の根拠とならない規則を示す。これは RRS 60.1(a)を 変更している。

1) 適用規則

- 1-1 本ヨットレースには「セーリング競技規則2021-2024」に定義された規則が適用される。(以下RRSとする)
- 1-2 IRCクラスは「IRC Rule 2023」を適用する。
- 1-3 【DP】IRCクラスはレース前に体重測定は行わないが、規則22.4、2証書に記載されたクルー人数×85kgのクルー重量を超えてはならない。
- 1-4 ダブルハンドクラスの乗員は2名とする。
- 1-5 クルージングクラス、ダブルハンドクラスのハンデキャップは大会独自の

ハンデキャップを使用する。

- 1-6 【DP】Y旗の掲揚の有無にかかわらず、レース参加者全員が個人用浮揚用具を着用するものとし、着用していない艇はRRS60.2により抗議される。(RRS40の変更)、なお、OSR国内規定を適用する。
- 1-7 外洋特別規定2022-2023付則B インショアレース用特別規定を適用する。。
- 1-8 三崎・横濱安全特別規定を適用する。(NoR24)

2) 帆走指示書

- 2-1 S I (帆走指示書)は2023年4月1日(土)から4月30日(日)までに外洋東京湾のホームページに掲載する。
- 2-2 S I (帆走指示書)に変更等があった場合は外洋東京湾のホームページに掲示する。
- 2-3 NoR (レース公示)とS I (帆走指示書)の間で矛盾が生じた場合はS I (帆走指示書)が優先される。
- 2-4 やむを得ず海上で変更する場合は、予告信号までに本部船にL旗を掲げ口頭で変更の内容を伝える。

3) 公式掲示板の場所

- 3-1 2023年4月1日(土)から4月30日(日)まで外洋東京湾のホームページに掲載する。

<https://jsaf.tokyo>

4) 参加資格

- 4-1 IRCクラスは2023年度版の有効なIRCレーティング証書(エンドースドまたはノーマル)を有する艇。
- 4-2 大会期間中有効な小型船舶検査証を有する艇であること。
- 4-3 大会期間中有効なヨット保険(賠償責任保険、捜索救助費用を含む)に加入している艇であること。

5) 大会日程

- 5-1 2023年4月30日(日) 予告信号 07:55 予定
- 5-2 表彰式・パーティー 16:00 予定

6) 開催場所

- 6-1 横浜ベイサイドマリーナをメイン会場とし、相模湾小網代沖から横浜市金沢区沖海面(東京湾)にて開催する。
- 6-2 パーティーは横浜ベイサイドマリーナ「センターハウス前」で行う予定。

7) 参加クラス

- 7-1 参加艇はIRCクラス、クルージングクラス、ダブルハンドクラスの何れかとする。
- 7-2 本大会は全てのクラス合計で10艇以上をもってレースは成立する。
- 7-3 各クラスの参加艇が多い場合はクラス分けする場合がある。

8) 参加料

- 8-1 参加料1艇につき 15,000円
- 8-2 パーティー費 1人 2,000円

9) レースコース

- 9-1 三崎小網代沖スタート⇒城ヶ島の南側通過⇒横浜ベイサイドマリーナ沖フィニッシュ。(帆走指示書のコース図参照)

10) クラス

- 10-1 IRCクラス
- 10-2 クルージングクラス
- 10-3 ダブルハンドクラス (IRC取得艇でもハンデキャップは大会独自のハンデキャップで行う)

11) 申込

11-1 申込に必要な書類

- ① 参加申込書
- ② 有効なIRCレーティング証書のコピー (IRCクラス)
- ③ レーティング申告書 (クルージングクラス、ダブルハンドクラス)
- ④ 誓約書
- ⑤ 乗員登録リスト
- ⑥ 有効な船舶検査証のコピー
- ⑦ 有効なヨット保険証券のコピー
- ⑧ 外洋特別規定2022-2023付則B インショアレース用特別規定申告書
所定の用紙は外洋東京湾のホームページからダウンロード可能です。
外洋東京湾ホームページ <https://jsaf.tokyo>

11-2 申込方法

- ① 所定の参加申込書に必要事項を記入し、参加料振込証を貼付け、IRCクラスは有効なIRC証書、クルージングクラス並びにダブルハンドクラスはレーティング申告書を申込先に電子メールに添付して申し込むこと。

申込先 E-mail : race@jsaf.tokyo

- ② また、④～⑧の書類を4月15日(土)までにメールに添付して送ること。

申込先 E-mail : race@jsaf.tokyo

ネットバンキング等で振込み、振り込み証の無い場合は、振り込み銀行名、並びに日時を参加申込書に記入すること。

- ③ 申込受付開始日 2023年 3月10日(金) 09:00～
申込締切日 2023年 4月15日(土) 17:00 まで

11-3 振込先

銀行名 : リソナ銀行(0010) 横浜支店(709) 普通預金 1885015

口座名 : 日本セーリング連盟外洋東京湾 足立利男

(ニホンセーリング レンメイガ イウトウキョウワニアダ リオ)

必ず艇名で振込んで下さい

11-4 申込先及び問合せ先

(財)日本セーリング連盟加盟団体 外洋東京湾

事務局 E-mail : race@jsaf.tokyo

12) 艇長会議

12-1 2023年 4月22日(土)

場所 横浜ベイサイドマリーナ 2階 会議室

時間 17時受付開始 17時30分開始

新型コロナウイルス等でZOOMにてリモートで行う場合。

17時受付開始 17時30分開始(ZOOM URLは後日に通知)

12-2 【DP】参加艇の責任者または艇長が必ず参加すること。

12-3 【DP】横須賀海上保安部による安全講習会が何れかの方法で行われる場合は、艇長または責任者が必ず受講すること。

13) スタートの予告信号

13-1 予告信号 07:55 予定。

14) レースのスタート方法

14-1 RRS26方式により行う。

15) レース・タイム・リミット

15-1 全艇のレース・タイム・リミットは15:00とする。この項はRRS35、付則A5を変更している。

15-2 ゼネラルリコール等でスタート時間が変化しても、全艇のレース・タイム・リミットは変更しない。

16) 【DP】ダブルハンドクラス規定

- 16-1 船首から船尾まで堅牢なジャックラインを両舷に取り付けること。
- 16-2 いかなる形式の自動操舵装置を使用してもよい。この項はRRS 52、IRC規則15.2(d)を変更している。
- 16-3 自動操舵装置に電子航法装置を接続してはならない。
- 16-4 乗員は個人用浮揚用具並びに落水防止の為セーフティーハーネス並びにティザーをレース当日、出港から帰港まで身に着け、堅牢なアイ等に装着しておかなければならない。(RRS 40の変更)。

17) インスペクション

- 17-1 本大会においてテクニカル委員会は、IRCクラス艇の抜打ちの体重測定、並びにダブルハンドクラスのジャックラインの装備の確認や、ハーネスやティザーの装着を含むインスペクションを随時行うことがある。

18) 中止の決定

- 18-1 中止の決定は2023年4月29日(土)08:00までに行い、外洋東京湾のホームページにUPすると共に、各マリーナの事務所にFAXすると共に、参加者に携帯電話等で連絡する。

19) 得点

- 19-1 順位はIRCクラス、クルージングクラス、ダブルハンドクラス共各艇の所要時間にハンデキャップを乗じて秒単位で修正時間を算出し(秒未満は四捨五入)、修正時間の小さい方を上位とし、順位に合わせて得点を付与する。
- 19-2 得点方法はRRS付則Aの低得点方式とする。
- 19-3 クルージングクラス、ダブルハンドクラスは横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレースのハンデキャップ値を参考とし、本大会独自のTCFを使用する。
- 19-4 クルージングクラス、ダブルハンドクラスのハンデキャップについての抗議、救済は認められない。

20) 賞

- 20-1 各クラス1位~3位まで。
- 20-2 ファーストホーム
- 20-3 各クラスの参加艇が5艇までは1位のみ、10艇までは1位~2位まで。
- 20-4 IRCクラスは東京湾サーキットシリーズレース2023の対象レースとする。

21) 責任の所在

- 2 1 - 1 競技者は、自分自身の責任で参加する。(RRS 4 参照)
- 2 1 - 2 主催団体、後援団体、協力団体、その他の大会関係者は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

2 2) リスク・ステートメント

- 2 2 - 1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による障害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な障害、死亡のリスクである。

2 3) コロナウイルス感染症対策

(レース前3日までに下記の条件が満たされていること)

- 2 3 - 1 平熱を超える体温、味覚異常、だるさや体調の異常がない。
- 2 3 - 2 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がない。
- 2 3 - 3 同居の家族や身近な知人で感染が疑われる方がいない。
- 2 3 - 4 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない。

2 4) 三崎・横濱安全特別規定

- ・ 【D P】浦賀水道航路内を航行してならない。
- ・ 東京湾入り口付近の久里浜沖にはアシカ島の暗礁があり、東京湾フェリー久里浜 ⇄ 金谷(千葉県)が就航しているので十分に注意して航行すること。
- ・ 【D P】自艇と本船、他航行船との間に衝突などの危険な状況に陥る恐れがある場合は早めにエンジンで航行して回避しなければならない。
- ・ 【D P】エンジンによる回避行動をとった場合内容をレース終了後レース委員会に書面で提出すること。
- ・ レース当日の風方向によっては、横須賀港沖付近を通過する時は一部の海面で、この付近に待機している警戒船(運営ボート)の指示に従って機帆走とすることがある。
- ・ レースを継続することが困難な場合(悪天候、重大な危険が予測される)は中止をすることがある。
- ・ 【D P】通信手段として正常に機能する国際VHF、マリンVHFのいずれかを装備し、また2台以上の携帯電話を備えていること。

- ・ A I S装置の搭載を強く推奨する。
- ・ 【D P】 A I S搭載艇はレース期間中有効に作動させなければならない。
- ・ 【D P】 レース委員会から求められた場合、スタートからフィニッシュまで、参加艇の位置を表示されるアプリケーションを作動させること。

25) 泊地、その他

25-1 泊地の手続き。

- ・ 本大会の4月30日(日)より5月3日(水祝)(09:00迄)は参加申し込み時に係留の申請をした場合のみ無料で横浜ベイサイドマリーナに係留できる。ただし、その場合は3月20日(月)までに外洋東京湾へ申し込みをすること。

申込方法

- ① 艇名 ②ハル長 ③ホームポート ④ 停泊期間を外洋東京湾のメールにて申請すること。

外洋東京湾事務局 E-mail : race@jsaf.tokyo

- ・ 係留に際しては艇の所有者が責任を持って管理すること。
- ・ 艇の搬出入や係留は各艇でマリーナ事務所(下記)と確認の上行うこと。
- ・ 台風や低気圧の接近等でマリーナに係留等が危険と判断される場合は、各艇の責任で適当な場所に避難すること。

横浜ベイサイドマリーナ TEL 045-776-7594

FAX 045-776-7596

<http://www.ybmarina.com/>

以上

外洋東京湾

<https://jsaf.tokyo>